

いなべ市 議会だより

第23号

平成21年11月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報特別委員会



山郷保育所運動会

「ちからいっぱいみんなでおどれたよ。たくさんの応援ありがとう。」
素晴らしい秋空の下、新しくなった園舎で初めて行われた運動会

9月定例議会

目次

- 平成20年度決算認定……………P2
- こんなことが決まりました……………P3
- 13人が一般質問……………P4～P10
- 常任委員会の審査結果……………P11～P13
- 総務常任委員会視察研修……………P14
- 産業建設常任委員会視察研修……………P15
- 反対V S賛成討論……………P16～P19
- 議案の審議結果一覧表……………P19
- 市民の声……………P20～P21
- クイズ当選者・編集後記……………P22

平成20年度決算を認定

一般会計

特別会計

企業会計



教育費
30億5,671万円



消防費
6億4,280万円

土木費
20億5,682万円



商工費
1億649万円

農林水産業費
6億3,340万円



下水道事業
19億1,437万円

水道事業
9億5,461万円

住宅新築資金等貸付事業
3,819万円

農業公園事業
9,914万円

一般会計

195億3,811万円

前年度比5.3%増



農業集落排水事業
2億6,398万円

介護保険
21億1,667万円

後期高齢者医療
6億7,949万円

老人保健
4億2,452万円



国民健康保険
39億4,509万円

一般会計

195億3,811万円

前年度比5.3%増



民生費
54億6,697万円

衛生費
15億4,739万円

衛生費
15億4,739万円

住宅新築資金等貸付事業
3,819万円

農業公園事業
9,914万円

特別会計・企業会計

104億3,607万円

前年度比22.6%減

9月定例議会

こんなことが決まりました

☆学校設置条例の一部を改正する条例



廃校する員弁西小学校市之原分校

いなべ市立員弁西小学校市之原分校が平成21年11月1日に廃止されます。

☆健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定

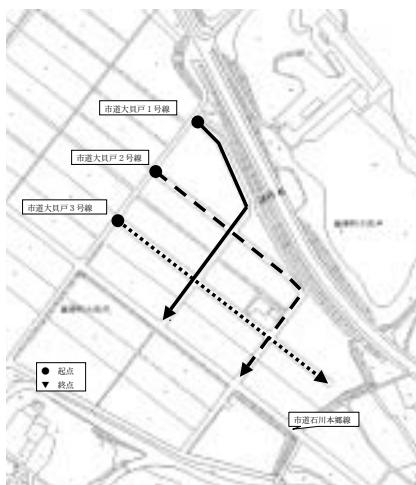


健康増進施設阿下喜温泉

阿下喜温泉の指定管理者を「財団法人ほくせいふれあい財団」に平成22年4月1日から平成27年3月31日まで指定します。

☆市道路線の認定

藤原町大貝戸地内3路線、大安町大井田地内1路線がいなべ市道路線に認定されました。



市道大貝戸1号線、2号線、3号線



市道大井田3区292の1号線

一般質問

あなたの声を市政に

9月8日・9日に13人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。



新政いなべ
川崎智比呂

- 1.景気経済対策を問う
- 2.市議会議員任期満了にあたり市長の所感は

7億2千万円に対して、市の予算は約4億3千万円、雇用対策事業では約1億7千万円使う。国の補助事業とタイアップすることで市の単独予算で取り組めない事業に取り組ませてもらった。

【質問2】 市議会議員任期満了にあたり市長の所感は。

【市長】 執行部と議会は車の両輪。いなべ市発展のために大所、高所からご指導をいただき、大きな混乱もなくいなべ市を導いていただいたので感謝している。

【質問1】 ①国の地域活性化交付金が補正予算として計上されている。これら事業の実施決定の基本的な方針は。また、費用対効果は。②国の緊急的な雇用対策として、雇用対策事業が創設されているが、これら事業の採択に当たっての方向性と費用対効果は。③行財政改革を推進して基金を積み立てておいて、今回のような経済危機の時に公共事業を多く取り組むなど、市の単独予算での景気対策事業はあるのか。

【市長】 ①学校の耐震化などやらなければならなかつたが、財政的に難しかったものに着手した。

【企画部長】 ①景気対策はもちろんのこと、市民ニーズで待ってもらっていたことが実現する。②「緊急雇用創出事業」で9名、「ふるさと雇用再生特別事業」で5名地域の雇用が生み出せる。また、地域振興、次世代育成の効果もある。③市の単独予算での景気対策はないが、国の補助事業で総事業費約



- 1. 転入者の意見を聞く
「ご意見箱」の設置を
- 2. コミュニティ・スクールと学校評議員の活動状況を



新政いなべ
小川みどり

【質問 1】 転入されてきた方の「いなべ市に対して感じられたご意見」を把握することは大変貴重である。転入者の方々からの意見を大切にする包容力のある市こそ「発展する市」であると考え、転入者が転入の手続きをされる際、アンケート用紙をお渡しし、後日「ご意見箱」に入れていただくような方策を設けては。

【企画部長】 転入者は概ね毎年1,600人から1,700人。転入者からは、新しい知恵と発想により、貴重な意見をいただくことが可能かと考えている。いなべ市の良さを市政運営に反映することは大切であるため、何らかの形で意見をいただければと思っている。

- 1. 不況によるいなべ市の商工業者への支援を
- 2. 悪臭条例はどうなったのか
- 3. 新型インフルエンザについて



新政いなべ
位田まさ子

【質問 1】 法人税の大幅削減で夏のイベントも無く淋しい夏になると思いきや、地域住民、商工会の努力で阿下喜八幡祭り、花火大会など地元商工住民の底力を見ました。この火を消さないよう市としてできることを商工業者に支援してほしい。

【市長】 工業においては、内需拡大のため企業誘致道路整備に力を入れる。地元商店には、『ありがとう券』の配置を商工会にお願いし、商店の活性、招客を促す。

【質問 2】 平古の悪臭問題が遅々として進まない。いなべ市の条例の制定の時期は。

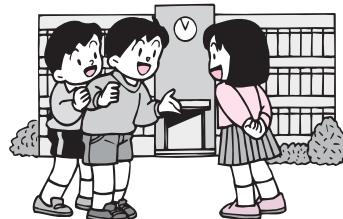
【市民部長】 これは県知事の告示で規制する。いなべ市としては臭気指数で申請し、7月に県の環境

【質問 2】 いなべ市における保護者・地域・学校・教育委員会が一体となった「コミュニティ・スクール」の取り組みは。

また、学校評議員からはどのような意見が上がっているのか。

【教育次長】 「石榑小学校」と「立田小学校」に学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」として指定。学校運営協議会では、予算や学校運営に関する計画を協議し、貴重な意見をいただいている。

また、他の学校には学校評議員会を置いている。いずれの会も保護者以外の人の意見を聞く貴重な機会ととらえている。学校側の分析に対し、意見をいただくことにより、さらに深い分析を行うことが可能となり、より充実した学校運営にもつながる。



審議会悪臭部会で承認され、9月にいなべ市環境審議会が持たれ、承認され周知期間の後、平成22年度から施行される。

【質問 3】 新型インフルエンザと季節性が蔓延してからでは遅いので、いなべ総合病院での発熱外来、相談窓口は設置できないのか。

【福祉部長】 新型インフルエンザが強毒性でないことが分かり、季節性インフルエンザと同様に考え、予防に力を入れるため、発熱外来は中止する。市内すべての病院で診察、対応ができる。感染予防に努力する。

【教育次長】 市内の小、中学校でも感染者が出たが今は、完治し元気に通学している。予防にはこれからも啓発していく。



いなべ市議会だより

一般質問



明正クラブ
水貝一道

- 1.市民の意識調査の実施について問う
- 2.各種委員会・審議会への公募委員制度を導入しては

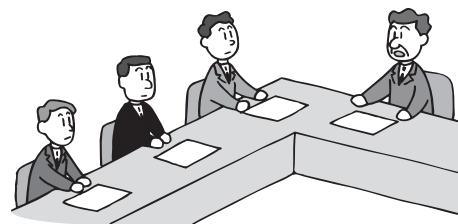
【質問 1】 合併して約6年になるが「合併してどこが良くなったのか」といった市民の声もある。そこで、市民の意識調査を実施し、幅広く市民の声を反映した行政運営を行う必要があると思うが。

【企画部長】 いろいろな方法で市民の声を聴いている。ご意見箱には平成19年度に24件、平成20年度に9件の要望があった。また、平成20年度には自治会からの要望が1,162件、ホームページの質問と提案コーナーには208件の提案などがあった。

また、平成16年度からはパブリックコメント制度（意見公募）を導入して市民からの意見を募っている。昨年度は、「いなべ市水道ビジョン」ほか6件の意見を募った。他にも「住生活基本計画」の作成にあたり、20歳以上の男女1,000名を無作為に抽出し、アンケート調査を実施したところである。

【質問 2】 市民参画の促進策として各種委員会、審議会への一部公募委員の導入を。①各種委員会、審議会の数は。②選任方法は。

【企画部長】 ①委員会6、審議会31。一般的には有識者、県などの行政職員、関係団体の代表などで構成しているが、一部の委員会では一般公募を導入している。
②有識者については刊行物、インターネット情報などを参考にし、大学、県、先進自治体へ問い合わせしあうえでお願いをしている。



明正クラブ
近藤幸洋

- 1.北勢斎場の老朽化に対する今後の方針を問う
- 2.あじさいクリーンセンターの今後の存続につき問う

【質問 1】 建設から18年になるが、阿下喜生産森林組合との借地契約内容の経緯と老朽化による補修・点検等の状況および今後の方針は。

【市民部長】 平成3年4月に北勢斎場としてスタートし、翌年4月に旧藤原町が加入した。借地面積2,217m²、借地料はm²あたり110円で次期更新予定期は平成22年4月24日である。

非公式で値上げの要望があるが、阿下喜地区と市の賃借関係のある土地が他にもあるため、斎場の契約更新と同時に協議していきたい。また、火葬炉は年2回の点検により修繕を実施している。現状の施設で引きつづき火葬業務を遂行したい。

【市長】 北勢斎場はデリケートな問題である。森林組合、阿下喜地区の住民との相談しだいではあるが、利用料金の見直しについても今後検討する事態もある。

【質問 2】 あじさいクリーンセンターの建設から約16年が経過したが、概要、借地契約内容、設備点検、補修費用と今後の存続についての課題等は。

【市民部長】 平成5年12月に旧3町で構成する西員弁清掃組合としてスタートし、処理能力は1日40t。現在は田辺農家組合と地権者3名から借り受け、借地面積6,881m²、借地料431円/m²である。償却施設の補修工事は、平成20年度5,435万円。20年経過した時に施設の診断、公害防止関係の基準が達成しているかを診断。その結果で皆さんと協議していきたい。



あじさいクリーンセンター

大雨に対する河川工事が早急に必要ではないか



明正クラブ
小林俊彦

【質問】 ①員弁川とその支流河川には、樹木や雑草が生い茂り、水はいつも同じところをたえず流れている。特に鎌田橋上流付近がひどく、昨年のようなゲリラ豪雨に見舞われた場合、災害が発生することは明らかである。県管理の河川ではあるが、市民の生命・財産を守るためにも早急に河川工事が必要である。県への要望とその回答は。

②員弁川水系河川整備計画（河川管理者の三重県が河川整備を実施する区間および整備する内容を定めたもの）につき、平成18年5月の第1回懇談会以降の動向は。

【建設部長】 ①昨年9月の水害による土砂堆積河川工事（川底の土砂をさらい取る工事）は、本年度に冷川の全域工事を完了。宇賀川・員弁川・源太川については一部工事を完了した。

- 1.遭難防止と救助の状況を問う
- 2.昨年9月の豪雨による災害復旧状況と国道421号の今後の復旧作業は



アクティブいなべ
小林昌彦

【質問1】 ①近年における市内の遭難は何件で、遭難および遭難支援のルールは確立されているのか。②消防団の山岳救助出動については、どのように考えているのか。

【総務部長】 ①山岳遭難については平成20年が1件、平成21年が2件で、いずれも宇賀渓で起きている。遭難支援のルールは、いなべ市消防団に関する条例に基づき、警察署からの出動要請があれば消防団はその服務として従事するものと認識している。三重県山岳連盟遭難対策部において協議会を設置し、県内の遭難救助のルールづくりが進められている。

②宇賀渓に関しては大安西分団にとって大きな負担となっているが、積極的に出動していただいている。

樹木・雑草が生い茂り、土砂堆積する河川が多くあることは把握している。毎年、県管理の河川については要望を行っており、本年の8月にも要望書を提出したところである。

②平成19年1月に第2回懇談会が開催された。懇談会で意見の多かった環境面については、「関係機関および地域住民等と連携、協働して改善に努める」とされ、堤防除草などの維持管理については、地域住民に協力を求めている。

また、土砂堆積区間の河川工事についても、水防上危険が迫っている箇所から進められている。



鎌田橋上流の雑木・雑草（北勢町地内）

【質問2】 ①昨年9月の豪雨による市内の災害復旧状況は。②国道421号石榑トンネル開通後の市道への移管が予想される石榑峠までの土砂崩落による通行不能箇所の土砂撤去はどうなるのか。

【建設部長】 ①道路災害3件、河川災害6件、橋梁災害1件については工事が完了している。河川災害1件については9月補正予算の議決後に準備に入り、年内の工事発注と考えている。

②三重県施工の工事である国道421号の災害箇所は7箇所で、現在施工中の3箇所については本年10月末完成の予定。残り4箇所については平成22年度末完成の予定。トンネル開通後市道移管までには全ての災害箇所の修復は終了することである。



昨年9月の豪雨による災害

いなべ市議会だより

一般質問



鈴峰クラブ
伊藤 弘美

サル捕獲用の「箱ワナ」を自治会への提供とサル捕獲者に対する報酬を

【質問】 繁殖力が強いため増えつづけるサル軍団。早朝『日の出一時間前』より出没し、民家の田畠の作物を食い荒らし、大きな被害を与えている。収穫した民家の軒下で保存している野菜類までも食い荒らし、ある時は女性や子どもに向かって威嚇。食べ物を持ち去るといった事態も発生している。また、サルを追払うと屋根に登って瓦を落とすといった被害も出ている。

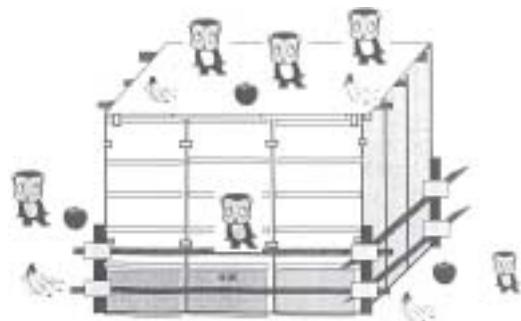
そこで猿害対策であるが、藤原町の農業公園においては、製作した「箱ワナ」での捕獲に成功しており、製作費も安く大きな効果を上げている。については、「箱ワナ」を希望する自治会に提供してはどうか。

また、サルの捕獲および市民が捕獲した場合には、一匹につき報酬として、『いなべっこ』での引換券または補助金を出すなどの猿害解消に向けた取り組みをしてはいかがなものか。住民の苦労を市長の英

断をもって少しでも軽くしていただきたい。

【農林商工部長】 サルの捕獲には、①ワナの免許が必要。②自治会の総意で地元の理解が得られているか。③最終処分がクリアできるか。以上のような問題が解決できれば自治会単位でサル捕獲をすることも可能だと考える。

【市長】 住民の意識を高めるにも市が提供するのではなく地元が製作し、市が補助をする方向で検討したい。捕獲も重要であるが、地元住民が皆で追払いを実施することも重要であると考えている。



政和会
水谷治喜

- 1.兼業農家への今後の支援策と自給率アップに向けた住民参加型の討論が必要では
- 2.公民館・文化施設の利用について問う

【質問 1】 市としては、認定農家、集落営農組織など、担い手施策に重点を置いて結果も得られた。しかし、市内の水田耕作面積の半分は、まだ兼業農家の人たちによって守られている。兼業農家への今後の支援としては、どのような施策を考えているのか。

また、市内の食料自給率アップにつながる施策として、さまざまな分野からの住民参加型の討論の場を持ち反映してはどうか。

【農林商工部長】 平成21年度より、兼業農家に対し農機具購入補助などを検討中である。

また、現在のところ住民参加などによる自給率アップを図るために会議などは考えていない。

【質問 2】 市内の公民館・文化施設の利用方法については、条例により3日前までの予約が必要である。そのため、当日それらの施設の利用申請がなく空室であっても、「急な利用についてはできない」といった現実がある。ホールなどは別にしても会議室や研修室などの利用については、市民サービスの面からしても条例改正・規則の改正などを行い、市民がよりよく利用できるように取り組むべきでないか。

【教育次長】 利用できるように取り組む。



中央公民館（大安町地内）

定住自立圏構想について問う



政和会
川瀬利夫

【質問】 市は「定住自立圏構想推進要綱」に基づいて中心市宣言を行い、東員町との連携を宣言した。これは「中心市」と「周辺市町村」が1対1で協定を結び、定住、発展を目指すものである。そこで、①定住自立圏を形成するにあたり基本とする考え方。②具体的にどの点に重点を置こうとしているのか。③東員町とは今回主要施策を連携していくということだが、今後は合併ということも考えているのか。

【企画部長】 ①圏域の市の課題である医療とそれに関わる交通機関のネットワーク化を基本として行う。②医療、福祉、教育等の各分野での連携を行っていきたい。具体的には東員町との協定後に検討する。③合併と定住自立圏構想は根本的に違うものであるため、「定住自立圏構想」を進めていきたい。

【再質問】 定住自立圏内で行われる民間投資に対し、国から事業費の40%を交付される。市はそれをPRしたのか。額が大きいと思うが商工会などに説明をしたのかどうか。

【企画部長】 この交付金は、その事業が地域の構想に合致するかが採択の基本となるため、医療、福祉、交通ネットワーク等の分野に限って声をお掛けした。

【再質問】 いなべ市が直面している過疎化、人口流出の問題は非常に重要な問題であり、この施策はもっと市民に理解された上で進めていく必要がある。市はきちんと透明性をもって説明を行ってほしい。

定住自立圏形成の目的

定住自立圏とは、中心市と周辺市町村が、自らの意思で1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として、形成される圏域です。

圏域ごとに「集約とネットワーク」の考え方に基づき、中心市において圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、周辺市町村において必要な生活機能を確保し、農林水産業の振興や豊かな自然環境の保全などを図るなど、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図ることを目的とします。

- 1.健康増進施設阿下喜温泉指定管理者制度を問う
- 2.国民健康保険料の水準維持を求めます
- 3.子どもの健やかに育つ権利を守るために



日本共産党いなべ市議団
衣笠民子

【質問1】 ①民間営利企業が管理者では「住民の福祉に寄与する目的」が果たせていないのでは。②市の直営に戻し、各業務は適所に委託すべきでは。

【市長】 ①平成22年3月で株式会社大新東への指定期間が終わる。次は、「財団法人ほくせいふれあい財団（責任者は市長）」に指定する議案を提案している。②直営では臨機応変な経営がしづらい。

【質問2】 ①国民健康保険料は、国の負担が減り全国的に社会問題化するほど高い。皆保険制度を支える社会保障であるため、国の負担が減った分を一般会計で負担し、保険料の水準維持が必要ではないか。②国民健康保険の窓口負担の減額・免除制度が活用できるよう条例等の整備が必要ではないか。

【市長】 ①一般会計と国民健康保険特別会計の基金からの繰り入れで保険料を低く保ってきたが、基金が底を突けば値上げをお願いしなければならない。②国で減額・免除実施のモデル事業を行い、活用の基準を出すとしている。基準ができたら運用していきたい。

【質問3】 ①子どものインフルエンザ予防接種費用助成が必要ではないか。②就学援助を受けている児童・生徒が学校保険法に定める疾病にかかる場合、窓口での負担ではなく速やかに治療できるよう「医療券の発行」を行っては。

【福祉部長】 ①国・県の動向を見て判断したい。
【教育次長】 ②実施できる方向で進めたい。



健康増進施設阿下喜温泉内

いなべ市議会だより

一般質問



日本共産党いなべ市議団
石原 瞭

- 1.いなべ市の農業の方向性はどうなるのか
- 2.固定資産税の評価替えの結果はどうなったのか

【質問1】 市の主力産業は農業であり、特に米づくりであるが米価下落の中で今後どのようにつづけていくのか。①就労者の高齢化、②耕作放棄地の実態、③有害鳥獣による被害状況と今後の対策は。④政権交代による農政転換の影響は。⑤市の農業の方向性は。

【農林商工部長】 ①認定農家84経営体で市内の水田の約半分を担っており、うち70歳以上の高齢者がいないのは24経営体のみ。②耕作放棄地は増えているが現在の実態は調査中である。③イノシシ・シカ・サルの苦情が多く、捕獲処分もしているが壊滅への決め手がない。電気柵、捕獲檻、猟友会による追い払いを統合して地域をあげての対策を推し進めたい。④農業者への所得保障、または転作選択制ができるのならば非常に大きな影響がある。

今後、国際的な自由貿易が予想され、農家に対しての影響は計り知れない。⑤市単独で集落組織づくりを支援してきたが、今後認定農家は増加しにくい。平成22年度から兼業農家も含めた育成事業に着手して支援していきたい。

【質問2】 固定資産税評価替えの結果はどうなったか。課税通知に前年度納税額を併記し、大幅な税額変更時にはその理由を明記するなどの納税者が納得をする工夫をしたらどうか。

【総務部長】 土地、家屋ともに評価額は下がったが、大規模工場の新規設備投資により、2億円強の増額となった。課税通知の改善は望ましいが、費用が掛かりできないため広報誌で周知を図る。



公明いなべ
鈴木 順子

- 1.重度の障がい児への支援策は
- 2.学校給食の状況について問う

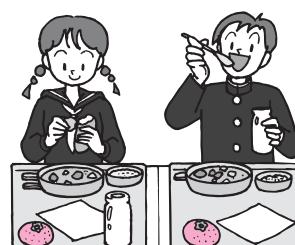
【質問1】 重度の障がい児支援については、まだまだ遅れており、今後、市としてはどのように支援していくのか。

【市長】 療育センターの設立が理想であるが、いなべ市として設立することは難しい。平成22年4月より児童館を利用し、保護者の交流会などを開催。定期的に重度の障がいを持つ未就学児の保護者を対象に心理士・言語聴覚士・専門家による相談会・講演などを実施できる体制にしていきたい。また、就学児に対しても夏休みのような長期の休みには、生活のリズムを崩さないための支援も考えていく。

【質問2】 ①食育の観点から、残食を少なくするための工夫をしているのか。②市内の学校給食の献立・食材・給食費を統一するべきでは。③市の財政は厳しいが、員弁中学校と北勢中学校の給食を早急に実施すべきである。外部委託方式ではどうなのか。

【教育次長】 ①平成21年度より、給食センター長・栄養教諭・栄養職員等による給食運営協議会を定期的に開催している。②今年度中に市内の小中学校の食に関する全体指導計画を策定する。③藤原給食センターでは外部委託で行っている。

員弁中学校と北勢中学校の給食については、今後、既存の給食センターの活用を検討する余地がある。初期費用を抑えるとともに、運用費用も抑える方法により、実施できるよう考えていきたい。



常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査、9月14日(議案2件)

- 平成21年度一般会計補正予算(第2号)(全員賛成)
- 平成20年度一般会計歳入歳出決算認定(全員賛成)

委員会での主な質疑

平成21年度一般会計補正予算(第2号)

Q 政権交代に伴う経済対策にかかる補助金の見直し等があるかもしれない中で、今回の補正予算は、交付決定されたものなのか。それとも交付の見込みがあるものすべてについての予算計上をしたのか。

A 現在聞いている4億3千万円については、配分予定額であり決定額ではない。今後の動向として影響が生じる可能性もある。このことについての臨時交付金については、市単事業だけに充当するのではなく、国の補助事業に対しても併用できる事業もあり、影響する部分もあるかもしれないが、現段階では不透明である。

Q 平成22年度からの福祉バス運行の実施にあたり、どのような運行形態で実施するのか。



大安町で運行している福祉バス

A 平成22年度4月以降については、現運行を基準として大きく変えない方向で行いたい。現在は三重交通、三岐鉄道に委託しており、4月からは、市から社会福祉協議会を経てシルバーに運転を委託する。あくまでも実質管理は、市が行う。将来的には、市一本化の運行で行っていく予定である。

平成20年度一般会計歳入歳出決算認定

Q 地域コミュニティバス事業費3路線の運賃収入は、どれだけ市に入るのか。



現在運行されている地域コミュニティバス

A 運賃収入については、三重交通の経費の中から運賃収入を引いた残りを委託費として支払っている。市への歳入としては、発生していない。

いなべ市議会だより

教育民生常任委員会

付託案件の審査、9月14日（議案13件、請願3件）

- 学校設置条例の一部を改正する条例……………(全員賛成)
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例……………(全員賛成)
- 健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定……………(賛成多数)
- 平成21年度一般会計補正予算（第2号）……………(賛成多数)
- 平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）……………(全員賛成)
- 平成21年度老人保健特別会計補正予算（第1号）……………(全員賛成)
- 平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）……………(全員賛成)
- 平成21年度介護保険特別会計補正予算（第1号）……………(全員賛成)
- 平成20年度一般会計歳入歳出決算認定……………(賛成多数)
- 平成20年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定……………(全員賛成)
- 平成20年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定……………(全員賛成)
- 平成20年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定……………(全員賛成)
- 平成20年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定……………(全員賛成)
- 義務教育国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元を求める請願……………(全員賛成)
- 30人以下学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校
次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求める請願……………(全員賛成)
- 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関する制度の拡充を求める請願……………(全員賛成)

委員会での主な質疑

健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定

Q 「財団法人 ほくせいふれあい財団」の組織等はどのようなものか。



青川峡キャンピングパーク

A 「財団法人 ほくせいふれあい財団」は、平成15年2月に設立された法人で、全国的にも評価の高い「青川峡キャンピングパーク」の運営に当たっている財団である。なお、理事については、現在6名をもって構成されている。

平成21年度一般会計補正予算（第2号）

Q 青少年活動機会創出事業費として計上されている屋根のない学校管理費の緊急雇用創出事業費109万2千円および「NPO法人こどもパレット」への人件費にあたる、児童センター事業費、ふるさと雇用再生特別基金事業費511万円に関して補助金が出る期間はどれだけであるのか。



屋根のない学校

A ふるさと雇用再生特別基金事業費は3年間。また、屋根のない学校については1年間である。なお、「NPO法人こどもパレット」に対しては、補助期間の終了後も、現在、委託をしている事業を拡大し、市民活動の中心となっていただき、人件費を含めた形において委託をつづけていきたい。

産業建設常任委員会

付託案件の審査、9月14日（議案12件）

- 市道路線の認定 (全員賛成)
- 平成21年度一般会計補正予算（第2号） (全員賛成)
- 平成21年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成21年度農業公園事業特別会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成21年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成21年度水道事業会計補正予算（第1号） (全員賛成)
- 平成20年度一般会計歳入歳出決算認定 (賛成多数)
- 平成20年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成20年度農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成20年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成20年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 (全員賛成)
- 平成20年度水道事業会計決算認定 (全員賛成)

委員会での主な質疑

平成21年度農業公園事業特別会計補正予算（第1号）

- Q 有害鳥獣対策事業のドッグラン施設については、完成していると思うが、その目的に沿った利用についてはどうなっているのか。



ドッグラン施設（梅林公園内）

A ドッグランの施設にフェンスを張って整備した。それからドッグランの中の犬の遊具を購入するとお金がかかるためにシルバーに作ってもらった。これからは、犬を追う里守犬を育成していくために、資格を持った指導者に委託していかなければならぬので、その費用を市単独事業で計上していましたが、国の補助事業で認められて減額をした。また、先日初めて里守犬の育成研修をスタートさせ、本年に2回程、県外からお客様を呼んでイベント的のものを行ない、反響を見て本格的には平成22年度からスタートさせて行こうと考えている。

- Q トラックスケールの導入は良いが、草木の重量になると刈りたての草と枯れ草とでは重量に差が出るが何か基準があるのか。



草木を受入れる堆肥施設（梅林公園内）

A 重量単価の決め方が非常に難しく、今までには平米単価で押し切ってきたが、搬入側の強い要望もあって導入した。このような事態になったので、刈りたての草と枯れ草の重量データは持っているが、データ通りに行くかどうかの問題がある。7月、8月の雨季に刈った草は非常に重量が増えるが、2回刈りの10月、11月に刈る草は重量が軽く、一般業者が行っている重量単価に合わせることが非常に難しく、その単価によって農業公園事業収入が大きく影響するので、今までではトラックスケールを導入しないことで押し切ってきたが、本年の国土交通省が入れている単価で受け入れたいと思っている。

総務常任委員会 観察研修（7月7日～8日）

1. 「公共施設等の統廃合及び指定管理者制度導入の取組み」について学ぶ

（岐阜県恵那市）

恵那市は平成16年10月、旧恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原町、上矢作町の新設合併により誕生した。現在の恵那市は、財政規模、市職員数、公共施設など、同規模の自治体と比べて非常に大きなものとなっており、これまでの自治体運営を根本から見直し、身の丈に合った財政規模や、市民に開かれた新しい原理に転換していくための行財政改革および行動計画を基に進めている。

公共施設統廃合の平成19年度実施状況と20年度の取り組み状況は、保育園、給食センターおよび共同調理場、リサイクルセンター、火葬場の各統廃合、小中学校では、小規模教育検討委員会を設置し、小規模教育の調査研究を進めている。また、公の施設では、廃止が1カ所、移譲が4カ所となっている。

指定管理者制度導入の状況では、公の施設として条

例設置されている458施設のうち、平成22年度までに、134施設を目標に指定管理者制度による管理運営方式へ移行する。平成18年度、平成19年度の成果としては、目標の123施設に対し、98施設を指定管理者制度に移行している。残りの施設についても、関係者との調整を進め、早期に移行を進めている。



恵那市役所

2. 「公共施設等の管理に係る合理化の取組み」について学ぶ

（岐阜県高山市）

高山市は平成17年2月1日、高山市、丹生川村、清見村、荘川村、宮村、久々野町、朝日村、高根村、国府町、上宝村の1市9町村が合併し、面積は約2,177km²と東京都に匹敵する日本一広い都市である。合併後の公の施設総数は644施設となつたため、平成17年度に「公の施設の管理計画」を策定し、指定管理者制度を導入すべき施設369施設、廃止・民間譲渡すべき施設108施設、直営を継続する施設167施設に振り分けて検討に入っている。平成21年4月1日現在の公の施設の用途廃止実績は、小・中学校6校、保育園2園、体育施設7施設など、89施設となっている。

また、指定管理者制度導入による、平成21年度指定管理者による管理施設数は、平成21年4月1日現

在276施設で、未指定施設はごみ処理施設、地区公園、スキー場、キャンプ場の観光施設など、20施設となっている。なお、当初計画の指定管理者制度導入施設のうち、都市公園、地区公園の一部を直営に、地区公民館の一部を譲渡等に方針を変更している。

現在の課題および今後の取り組みの中で、施設の統廃合では、指定管理者が管理を行っている施設の統廃合、旧行政区画を超えた施設の統廃合、指定管理者制度では、指定管理者へのインセンティブ、公益法人改革と指定管理者、また、用途廃止後の財産処分の停滞などがあり、今後も、管理経費削減などに向けた施設等の合理化への取組みを引き続き行っていく考えを述べられた。



高山市役所において挨拶をする伊藤委員長



高山市の職員から説明を受ける

産業建設常任委員会 視察研修（7月7日～8日）

1. 氷見のハトムギ茶 (富山県氷見市)



JA氷見市において挨拶をする藤本委員長

ハトムギはトウモロコシに近いイネ科の植物で、ジュズダマとは「種」は同じである。ジュズダマは殻が非常に固いが、ハトムギは殻が柔らかくて剥きやすい。

原産地は中国南部からインドネシア半島付近といわれてあり、日本には江戸時代に朝鮮半島を経て渡来したと考えられ、薬用として栽培されたと記録に残っている。

また、その育成の特性として強い湿気性があることから、昭和56年に水田利用再編対策の特定作物として指定されたことをきっかけに水田転作作物として全国各地で栽培に取り組まれてきた。



ハトムギの作付け状況

氷見市におけるハトムギの生産は、山間部の細越地区から始まり、昭和60年代より転作作物として湿害に強いハトムギの栽培を開始してから現在まで20年以上にわたりハトムギの生産を続けている。

昭和60年12月に「細越ハトムギ生産組合」を設立し、当初約1.5haの栽培であったが、徐々に増加し、現在は約3haで作付けされている。

この間に、組合内に加工部を設置し、ティーパック「はとむぎ茶」や煎餅「はとむぎの里」を商品化した。



ハトムギの焙煎工場



焙煎されたハトムギ

いなべ市においても今年度にJAいなべさんを中心に約1haの作付けを試験的に行ってています。

2. 氷見市の地籍調査を学ぶ (富山県氷見市)

「土地の戸籍」である地籍を明確にするため、市町村等が事業主体となって、一筆毎に調査、測量を行う。

(1) 土地の所有者、所在、地番、地目、境界、地籍を地籍図および地籍簿にまとめる。

(2) その成果を登記所に送付することにより、登記簿が修正されるほか、地籍図が不動産登記法の地図として備え付けられる。

氷見市での研修を受けて、事務の効率化を図り、さらなる地籍調査事務を進めていきます。



氷見市役所において意見交換

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとあります。

●健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定

(賛成多数可決)

阿下喜温泉の指定管理者を「財団法人ほくせいふれあい財団」に指定しようとするものです。

反対討論

衣笠 民子 議員

「福祉施設は直営で市が直接に責任を持て」

健康増進施設阿下喜温泉は「住民の福祉に寄与する施設」として福祉目的でいなべ市になって最初に建設された施設である。オープンから1年で市の直営から指定管理者制度が導入され、まず民間営利企業が指定管理者に指定された。そして3年の契約期間が切れ、今回提案の「ほくせいふれあい財団」に指定管理者を指定しようとするものである。しかし、一般質問でも明らかになったように、働く人は直営も民間企業でも今回の財団でも大きく変わらない。ましてや今回のほくせいふれあい財団の管理責任者は市長である。それならば、市の直営に戻すほうが、福祉部と連携し、いなべ市の他の福祉と関連づけてより住民の福祉に寄与できるものと考えられる。

また、直営の方が議会のチェックも働き、住民や利用者の声も反映できる。福祉の目的達成への疑問や運営の不透明さが残ることから反対する。

賛成討論①

太田 政俊 議員

「指定管理者制度に移行しても市民満足度は高い」

阿下喜温泉の指定管理について賛成の立場で討論する。阿下喜温泉を市直営から指定管理者制度に移行して利用者が満足している現場を知らずに何もかもが反対では困る。利用者に対して一番の管理者を選ぶことが重要で、今回の「ほくせいふれあい財団」に移行することには賛成である。

賛成討論②

小川 克己 議員

「経費の削減とサービスの充実に向けて」

阿下喜温泉の施設管理については、いなべ市における厳しい財政状況から経常的な経費については、特に公共施設の効率化を図るために指定管理者制度を導入して行政改革の推進に努めている。よって、「財団法人ほくせいふれあい財団」を指定管理者にすることにより、一般会計に占める経常経費の更なる削減が見込まれる。

また、当財団は青川峡キャンピングパークの指定管理者でもあり、現在も実績を残しており信頼性もあることから賛成とする。

●平成21年度一般会計補正予算（第2号）

(賛成多数可決)

本年度行った事業を詳しく調査し、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

反対討論

衣笠 民子 議員

「バスの購入5台はコミュニティーバス事業の大転換、慎重にせよ」

今回の補正予算の主なものは、國民から先の国政選挙で退場の審判を受けた自公政権が経済危機対策として借金で約15兆円の大盤振る舞いの置き土産をしていったものである。この間、地方への財政措置は切り縮められてきたので、確かにありがたい面もあるが、スクール・ニューディール事業として約1億6千万円などは総額では大きな金額であるにもかかわらず、その中身の電子黒板等購入するなどは、現場の要望でもなく、新政権でも疑問の声の上がっているものである。

また、福祉バス5台の購入代1,800万円は、いなべ

市のコミュニティーバス事業を現在の大安地域で実施している福祉バス方式に変えようとするものであり、このような大きな方向転換にはもう少し市民の周知を図り、意見を求め、慎重にすべきである。よってこの補正予算に反対する。

●平成20年度一般会計歳入歳出決算認定

(賛成多数認定)

平成20年度の決算を地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて認定に付するものです。

反対討論

「約19億円の黒字決算で、なぜ『市民のくらし』を守る事業ができないのか」一般会計の決算を通年で見ると市税の内訳で法人市民税は18年度をピークに減ってきてているが、固定資産税の増により市税全体が95.5億円と過去最高を示す一方、地方交付税も1.2億円増えており、景気悪化の影響は受けていない。歳出では、民生費で2つの保育園建設もあって3.1億円の増加、教育費でも員弁西小学校、大安給食センターの建設があって11.9億円の増加にもかかわらず、全体での実質収支額は18.5億円の黒字決算だった。

日本共産党市議団が一貫して指摘してきた「野入溜」の支出がこの決算にはまだ残っており、その他にも新入児童用机椅子を毎年更新、住基ネットなどへの疑問もある。先の総選挙では子育て支援ということが一つの争点になったように、今後の大きな課題となっており、昨年から今年にかけて乳幼児医療費助成制度が三重県下でも大きく前進した。しかし、いなべ市は他の子育て支援制度においては先進的な取り組みがあるが、この問題では一歩も前に出ようとしていない。

また、中学校給食問題での不公平の解消についても、その計画さえ示していない。今後は、一層市民のくらしを守ることを望んで反対討論とする。

石原 瞭 議員

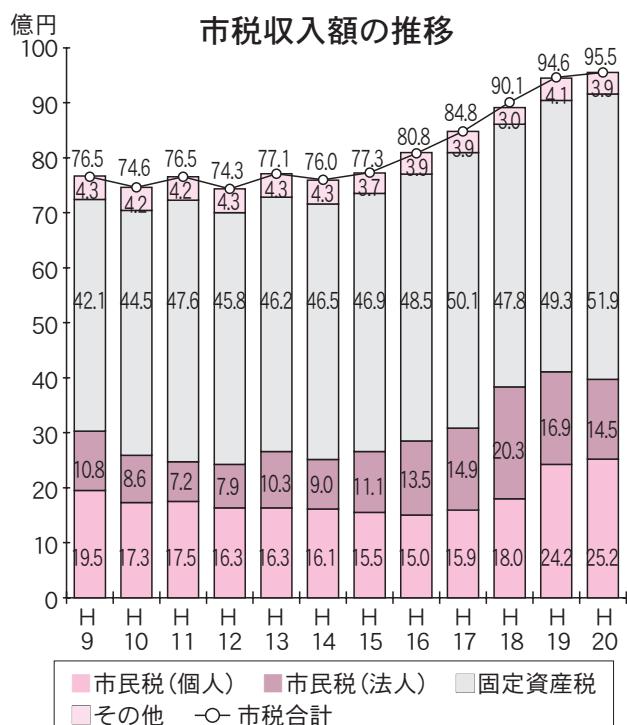
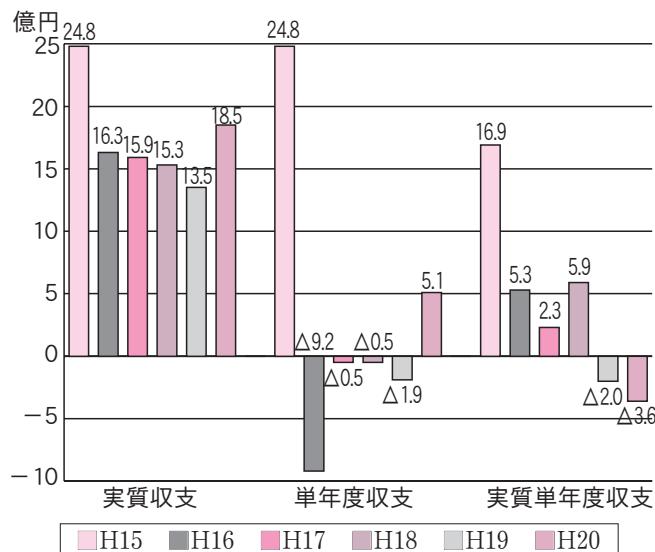
賛成討論

太田 政俊 議員

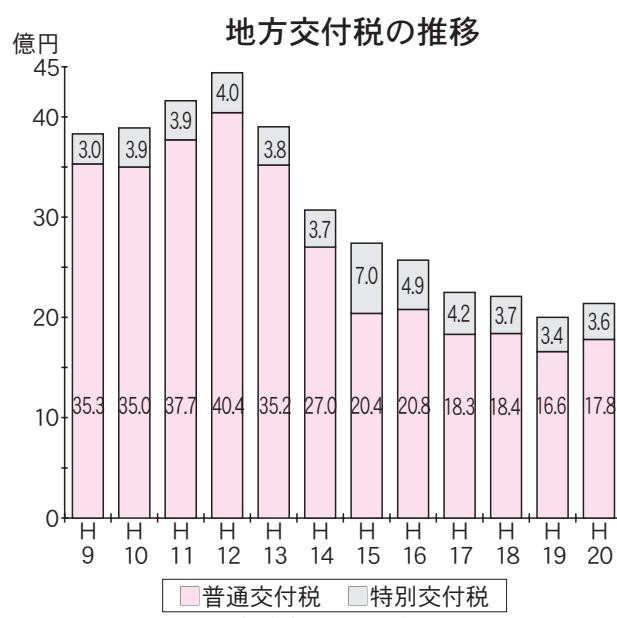
「予算執行に努力した結果が表れている決算である」

平成20年度一般会計決算認定について賛成の立場で討論する。それぞれの予算項目において、市職員が真剣に予算執行に努力をされた結果が平成20年度歳入歳出の決算認定として上程されている。このことについては全くの不信感もなく大いなる拍手をもって賛成とする。

実質収支、単年度収支及び実質単年度収支の状況



地方交付税の推移



いなべ市議会だより

●政務調査費の交付に関する条例の制定

(賛成多数可決)

いなべ市議会における会派に対して政務調査費を交付するものです。

反対討論①

石原 瞭 議員

「議員だけが手当ての増額は許されない」

政務調査費は、地方議会の議員が政策調査研究等の活動のために支給される費用であり、法的にも地方自治法に規定されている。

三重県下でも大部分の自治体で導入され大事な制度であることは理解しており、その必要性は私どもも認めるところである。

しかし、問題点も多く批判的となり、しっかりととした使途基準を練り、透明性を高めることが必要である。問題は、今この時期に新しく支給を開始するという事は、政務調査費という制度をほとんどの市民が認知していない中で、議員のお手盛りによる歳費の上積みと見られ到底理解が得られない。いなべ市は財政が厳しいとして、あらゆる角度から削減を断行してきており、議員だけが増額では決して許されるものではない。

長期間に渡って、在り方を研究した努力を活かすためにも、ここでは強引に決めず、例えば一部の自治体で実施しているように報酬審議会など第三者機関の意見も取り入れて市民の納得のいくものにするために一層の努力をお願いして反対討論とする。

反対討論②

小川 克己 議員

「今、何故この時期(不況)に政務調査費か」

政務調査費については、議員による申し合わせ当时と比べ、現在の経済状況は180度変化した非常に厳しい状況である。我々議員も考え直して撤退する勇気が必要ではないかと思う。百年に一度の不況と言われ、平成22年度のいなべ市の財政状況は更に厳しさが予想されている。

本年2月には、3億円強の経費節減のために54項目の事務事業の見直しの説明を受け、内容は多くの各種補助金の減額・削減であった。自営業者の方は仕事が激減したため人手を減らし、かつ休日を増やすなど対応に苦慮しており、会社員も残業が減り大変苦労をしている。公務員においても先の人事院勧告によると年末一時金は大幅な減額で、今回は月額給料も減額するといわれています。

また、自治会長の研修費用も本年は廃止となり、更には自治会長手当も減額に向けて調整中と聞いており、まさに乾いた雑巾を絞る状況で経費の削減に努めている。

現時点での条例制定は住民の理解を得るのは難しく、県下14市の中で政務調査費が無いのが、いなべ市と他1市の2市ですが、いなべ市が政務調査費を交付しな

賛成討論

藤本 司生 議員

「政務調査費は議員活動に必要だ」

賛成の立場で討論する。政務調査費については、議員報酬とは全く性格の違うもので、この不況の最中に来年の4月から月額3万円を支給されるということは確かに市民の反発・怒りを買うのではないかと危惧するところである。

政務調査費は、調査研究のために支給されるのですから、今後、個人の議員活動が間違いなく厳しい目で見られるわけで、地元に挨拶だけをしていれば安気でいれる時代は終わったということである。公金により支給されるこの3万円は、1円に至るまで、はっきりとその使途を明らかにしなければならず、これからは政務調査費の使い方により議員の行動が明らかになり、個人的にもこの条例が施行された時のことを考えると身の引き締まる思いである。個人が議員として何を調査、研究、提案したのか問われる時代になったということで賛成する。

いということは、市民にとって一番わかりやすい議会改革ではないかと思う。政務調査費がぜひ必要であれば景気回復後に第三者機関を設け、審議いただいてからでも遅くはないと思い、以上の観点から反対討論とする。

政務調査費とは

市が条例を定めることにより、市議会議員の調査研究に資するための必要経費の一部として、市議会の会派または個人に対して交付することができる金銭的な給付です。

いなべ市議会においては、平成22年4月から会派所属人数に月額3万円を乗じて会派に交付されます。

●議員報酬の特例に関する条例の制定

(賛成少数否決)

議員報酬のうち月額3万円を一定期間減額するものです。

反対討論

藤本 司生 議員

「報酬の減額案はパフォーマンスではないのか」

議員報酬を3万円減額するという案だが、この時期にスタンドプレー的な匂いがして残念な想いである。議員報酬を議員が決める事は適当でなく、報酬については中立の立場の報酬審議会で答申されるわけで、月額10万円で良いとか50万円支給せよなどと、いちいち議員が介入することは適当でないと考える。あくまでも審議会での決定をどのような内容であっても重視すべきである。議員のパフォーマンス的なもので左右することに反対する。

賛成討論

石原 瞼 議員

「議員報酬から月額3万円の減額は必要だ」

本来政務調査費と議員報酬をリンクすべきものではないことは充分承知している。只今、発議第3号が可決され、来年4月から政務調査費を月額3万円支給することが決定した。

しかし、現在のいなべ市の状況で市民が政務調査費に対する理解度からいけば、政務調査費にあたる月3万円の議員報酬を引き下げるべきである。報酬額の本体を報酬審議会に通さずに議員が勝手に変更することはできないという歯止めもあるので、減額する期間を当面1年と定め、市民に対して政務調査費の理解を求めていくべきである。この措置は現在の5%報酬カットと同様であり問題はない。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～下記以外の26案件（議案11、認定9、請願3、発議3）は全員賛成で可決および認定

議長 奥岡 征士は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

議案名	付託委員会	審議結果	新政いなべ					アクティブいなべ					明正クラブ					新風いなべ					日本共産党 いなべ市議団	政和会	鈴峰クラブ	公明いなべ	自民改進 いなべ
			岡英昭	位田まさ子	川崎智比呂	藤本司生	林正男	小川みどり	太田政俊	小林昌彦	奥岡征士	清水保次	近藤幸洋	小林俊彦	水貝一道	種村正巳	出口正	衣笠民子	石原利夫	川瀬治喜	水谷城野	伊藤正昭	鈴木弘美	小川順子			
健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定	教	可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度一般会計補正予算（第2号）	総・教・産	可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度一般会計歳入歳出決算認定	総・教・産	認定	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
政務調査費の交付に関する条例の制定	委員会付託省略	可決	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議員報酬の特例に関する条例の制定	委員会付託省略	否決	×	×	欠席	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

いなべ市議会だより



市民の声



クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすく読みやすいです。「議案の審議結果一覧表」は、議案毎に議院内会派・各議員の賛否が明示されてとても分かりやすいです。議会の日程（予定）が掲載されていますが、傍聴の案内も併せて掲載されるといいと思います。

74歳 女性

◎ 携帯電話について、小・中学校での指導をしているが、まず、家庭の中でしっかり話し合いをしていただきたいと思います。

68歳 女性

◎ 議会だよりにて、議会の様子はよく分かりますが、一度、生の議会を見学したいと思います。

70歳 女性

◎ 熟人荘が介護施設になるようでしたが本当にできるのでしょうか？できるならばいつ頃でしょうか？

60歳 女性

◎ 初めてクイズにチャレンジしてみました。クイズをきっかけに今回の「議会だより」を読むことになりました。作戦にはまった感はありますが、子育て中の私は、子育てに関する記事に目がいきました。これからもじっくり読んでみたいと思います。

38歳 女性

◎ 議会だより毎回楽しみに拝見しています。

71歳 女性

◎ 学校でタバコをすっている人がいます。 女性

◎ 毎日の公務ご労様でございます。私達、藤原の住民は猿、鹿、猪等々に困っていますので、ぜひ駆除をお願いします。地域・住民の活性につながると思います。さすが市民が選んだ議員の仕事ぶりが良くわかります。日頃、一度は議会の傍聴をしてみたいと思ってきましたが、老人の私達に分かりやすく編集されていますので、必要なく議会だよりを拝読しています。ありがとうございます。

72歳 女性

◎ 議会の傍聴に参加できなく、議会だよりで良くわかる。
67歳 男性

◎ 議会だよりは写真が多く見やすいです。
64歳 女性

◎ いなべ市を住みよい場所にしていく取り組みいろいろな意見を議会だよりで知ることができます。高齢者福祉に関心大です。
70歳 女性

◎ 議会の方に頑張ってもらっています。ますます活気にあふれる市にお願いします。
28歳 女性

◎ 毎月届けられる議会だよりは、カラー印刷で見やすく、市民の私でも内容がわかりやすくとても良いと思いました。毎月の議会だよりを楽しみに読ませてもらっています。
42歳 女性

◎ 耕作放棄地対策に興味があります。畠もたくさんあり荒地に囲まれて、隣地まで草の手入れで困っています。今後もっと多く荒れていくのでしょうか？
63歳 女性

◎ いなべ市民のために頑張って下さい。
67歳 男性

◎ クイズが出されると知らず知らずに全部読みます。
72歳 男性

◎ いつも拝見しております。議員さんの一般質問についても分かりやすく書かれていますね。表紙以外は、カラーでなく、白黒・オレンジの文字で良いと思います。この紙はリサイクル紙？もちろん再生紙ですか？これからも分かりやすい市政を伝えて下さい。
32歳 女性

◎ 議会だよりは我々市民にとって大変分かりやすく書かれていて貴重な情報源です。
69歳 男性

◎ 市としては、公平に実施したいがお金がなくできないとのこと。何でも要求に応えることはできないのは良くわかる。でも、ただお金がないだけでは理解できない。全体ならともかく、北勢中と員弁中だけ給食を実施しないのは不公平であり、実施の方法も種々有ると思う。また、現在の補助金についても格差があるのはどうしてか？
77歳 男性

◎ いなべ市の高齢者福祉対策について、現在1人暮らしですけど、もし何かあった場合は、とても心配です。1人暮らしでも心配することなく生活ができたら嬉しいです。

68歳 女性

◎ 今までの議員さんの活動等をこの議会だよりを通して、今どのような取り組みをしているのかがよく分かります。今後も市民の生活の守り手になるように、ひとつでも多くの議題に取り組んでいってほしいと思います。

53歳 女性

◎ 一番身近である議員さんの活動に今後の期待をしてあります。住みよい町づくりのため、何を1番に言うのではなく、とにかく、いなべ市の現状をしっかりと見て聞いて対応していただきたく思います。できもしない項目ばかり並べる議員は必要ないです。

51歳 女性

◎ 色々の行事がわかり楽しみにしています。どうかよろしく、市が良くなることを祈っています。

69歳 女性

◎ 議会の一般質問がよく分かりました。これからもよろしくお願ひします。

女性

◎ 私は寝たきりの夫の介護を1年半ぐらいお守りしています。時間があれば議会だよりを読ませてもらっています。議員の皆さんには大変なお仕事だと思います。老老介護ですので福祉の記事があるのを見ますと何度も読んでいます。今後もよろしくお願ひします。

80歳 女性

◎ 議会の質問と答弁の内容がわかりやすく要約されています。視察研修を生かして、さらなる向上の「議会だより」を楽しみています。

67歳 男性

◎ 議会だよりが届くと1ページずつ読み、現在のいなべ市の様子が把握できます。クイズなども入れてあるので、家族で子どもたちと一緒に見たりして会話が広がっているのではないでしょうか。やはり環境が大事です。子どもたちにも自分が住んでいる市がどんなことをしているのか、どんな市なのかなど子どもなりに受け取って少しでも今後の市が良くなり、住みよい社会になっていくことを祈っています。年を多くとつてみえる方、若い方、子どもたちみんなが幸せに思える市であって欲しいと思います。行政の方々お願ひします。

58歳 女性

伊藤和子さんが逝去

7月26日、市議会議員の伊藤和子さんが逝去されました。
満51歳でした。

伊藤さんは、合併前の平成15年9月に北勢町議会議員として初当選。合併後は在任特例期間を経て、平成17年11月の選挙で当選され、地域の発展のために力を注がれました。市議会においては、教育民生常任委員会、議会運営委員会、産業建設常任委員会の副委員長などの要職を歴任。いなべ市議会の発展に貢献されました。

議会では、伊藤さんの逝去を悼み、9月定例議会の初日の開会前、議場において出席者全員が黙祷を捧げました。



クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、問1 **員弁西 小学校** 問2 **ケナフ** 問3 **小松市**

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人が当選されました。

北 金 井	種村 梨央 様	梅 戸 門脇 いね 様
田 辺	川瀬八重子 様	東 町 3 川瀬 保枝 様
中央ヶ丘	岡本 丈夫 様	下 笠 田 倉田まさゑ 様
北 金 井	種村 彩香 様	楚 原 水谷八重子 様
市 之 原	城野 昭美 様	上 笠 田 二井美千子 様
鍋 坂	小林 祥代 様	鍋 坂 藤川キミ代 様
東 町 1	野崎 由芽 様	梅 戸 福井 貴彦 様
市 場	長野 富子 様	

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

私たちが議会だより第20号～第23号の作成を担当しました。



議会広報特別委員



クイズ当選者の抽選を行う衣笠委員長

編集後記

今号は9月定例議会の報告です。9月議会は、「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目になっています。決算を少し分かりやすく掲載しました。身近に感じていただけたら幸いです。

11月末日を持ちまして議会議員の任期満了になり、今号でこの広報特別委員会の委員による「議会だより」をお届けするのは最後になります。研修をもとに、紙面の改善をいろいろ行ってきましたが、市民の皆様にもクイズを通して多数参加いただきありがとうございました。これからも議会ともども「議会だより」も注目していただけたらと思います。

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594)78-3515/FAX (0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>